

民主教育研究所

- 〒 102-0084
- 東京都千代田区二番町 12-1
- 全国教育文化会館 5F
- Tel 03-3261-1931
- Fax 03-3261-1933
- Email office@min-ken.org
- HP <https://www.min-ken.org>

2018

教育の焦点的諸問題を実践的理論的に探究する機関誌

年4回発行 定価 1190 円+税

民主教育研究所

季刊 **人間と教育** 98 2018 夏

ぜひ購読を
市販しています
直接購読も可能

特集Ⅰ
焦点としての「家族」
新自由主義と家族像

98号 <2018年夏>
特集Ⅰ 焦点としての「家族」
特集Ⅱ 今日の国家・社会・教育変更に
どう対抗するか

97号 <2018年春>
特集Ⅰ 学校が危ない!?—新自由主義教育の
もとでの子どもと教師
特集Ⅱ グローバル新自由主義のもとにおける
教育と教員

96号 <2017年冬>
特集Ⅰ これからの「学力」を語り合おう
特集Ⅱ 教育で 地域づくり、地域おこし

95号 <2017年秋>
特集 子どもの貧困—子ども・若者支援とその課題

『年報』を発行しています

第18号(2018年7月) 1800円
下北半島の未来を紡ぐ—地域、教育、民主主義
第1部 変貌する下北の地域と教育
第2部 下北における核半島と学習
第3部 下北調査に思う 第4部 今後の課題
第17号(2017年6月) 新学習指導要領を読み解く

『民研パンフレット』を発行しています

No.1「お金がないと学校に行けないの？」 2013年
No.2「子どもと学校、地域のための教育委員会制度とは」2014年

賛助会員へのお誘い

代表運営委員 梅原利夫

今これを読んでくださっているあなた、あなたに呼びかけます。
賛助会員になって下さり、ともに民研を創っていく、かけがいのないパートナーになることを。
私たちは待っています。あなたの意思と支援を。
小さな研究所が、大きな理想に向かって着実な一歩を踏み出すことができますよう、
今あなたのお力を寄せてください。

かつて若手研究者として、私は、民研設立準備会に参集しました。
教育現場の問題を研究課題に捉えなおし、自主的で創造的な研究活動を積み重ねて、少しでも子どもと教育関係者の願いに応えていけるよう、一途に歩いてきました。
民研は、間もなく創立三〇周年を迎えます。
この民研の流れに合流し、一緒に船をこいでいくお仲間になりませんか。

研究委員会

2018年度～2019年度の各研究委員会の研究テーマを紹介いたします。

子ども研究委員会

学校生活と学びの保障(高校生を中心に)、子どもの保護と生活支援・貧困問題、不登校問題・退学やひきこもりの問題、非行からの立ち直りの問題、子どものつながり・子どもとのつながり

(委員長 馬場久志)

中等教育研究委員会

高校普通科におけるキャリア教育(学校のとりくみと生徒のキャリア意識形成を含む)

(委員長 太田政男)

「特別支援教育と子ども・学校」研究委員会

①通級指導の全国動向と東京の通級指導学級再編の現状分析
②高校における通級指導 ③複式学級編成を原則とする特別支援学級の改善課題

(委員長 中村尚子)

教育課程研究委員会

①教育課程をめぐる政策動向と学校現場 ②実践現場・学校での具体的な現れとその実践的・理論的な対応

(委員長 金馬国晴)

教育行財政研究委員会

教育委員会制度「改正」後の自治体教育行政と「学校参加」制度

(委員長 山本由美)

「ジェンダーと教育」研究委員会

安倍政権下での新自由主義的女性政策・家族政策の検討、男女共学・ジェンダー平等教育の現状と課題の検討、セクシュアリティをめぐる青少年の現状とセクシュアリティ教育の課題の検討

新しい学習指導要領および新教科書のジェンダー視点からの批判的検討 性教育をめぐる状況、とりわけ足立区で起きている性教育バッシングを取り上げ、例会等で研究討議する。

(委員長 杉田真衣)

「環境と地域」教育研究委員会

「原発・地域・教育：下北半島と玄海町との比較を通して」玄海町の過去の運動と現況について集団調査を実施する。

(委員長 安藤聡彦)

国際教育研究委員会

「新自由主義教育改革の国際比較」子どもと教職員がおかれている状況をグローバルに捉え、各国の教育政策や教職員・市民の運動から課題を展望を見出す。

(委員長 中村雅子)

道徳教育プロジェクト

中学校の教科書(特に日本教科書)の分析、および小学校での道徳科の授業・評価とそれらに関する教育委員会作の手引きの収集と分析、さらには中学校のそれらを中心に、現場で実践していく手がかりの提供などを行う。

(委員長 笠原昭男)

この研究所は、真理と真実に基づき、研究をとおして広く教育の仕事に携わるものの実践を支え励ます拠点として設立される。研究と教育は統一的に把握されねばならず、教育実践を担う教育者自身もまた研究の主体である。研究の過程では、自由と自主性を重んじ、異なる意見や研究方法の多様性を認めあうことが不可欠である。
研究所は、教育の実践・研究に関わる情報の収集、交流に努め、必要な調査や教育上の課題の研究を行う。また、共通の願いにもとづいて設立された全国各地の諸研究機関との交流に努める。
私たちは、地域の切実な課題に取り組むことから出発し、人間的な視野に立ち、広く学問や文化に学びながら、人間と教育についての英知の結集の場となることをめざし、ここに民主教育研究所を設立する。(一九九二年・設立趣意)

研究フォーラム

教育専門職・労働者の働き方はどうあるべきかー「働き方改革」の検証

10月27日(土)

13:30～

エデュカス東京

◆学校教育とセクシュアリティ
6月2日実施

◆3,11から7年復興教育と心のケアと地域づくりへの挑戦から学ぶ
6月9日実施

◆発達障害がある子どものいる通常学級の実践と学級づくり
7月14日実施

憲法を生かし教育研究・実践の自由を
—すべての子ども・若者に学ぶ希望と喜びを—

会場：京都教育文化センター

全国教育研究交流集会

二〇一八年 二月二日(土)・二三日(日)

地域の教育研究所 教育運動との交流を通して研究を発展させる

民主教育研究所とは

◆賛助会員 になって下さい

民主教育研究所は、全日本教職員組合の組合員と、賛助会員によって財政が支えられ、運営されています。研究活動の一層の発展のために、ひとりでも多くの方に賛助会員としてご協力いただきたく、お願い申し上げます。

賛助会員の年会費は1万円(学生・院生は5千円)です。年4回発行の『人間と教育』を送付します。また民主教育研究所発行の書籍の値引き販売もしています。

申込みは、メール・FAXまたはHPからお願いします。名前、住所、所属、電話番号・メールアドレスをお知らせ下さい。

民研の運営委員・顧問等

代表運営委員 梅原利夫(和光大学名誉教授)

副代表運営委員 中村雅子(桜美林大学)

児美川孝一郎(法政大学) 馬場久志(埼玉大学)

運営委員 朝岡幸彦(東京農工大学) 荒井文昭(首都大学東京) 安藤聡彦(埼玉大学) 池谷壽夫(了徳寺大学)

勝野正章(東京大学) 木村浩則(文京学院大学) 金馬国晴(横浜国立大学) 杉田真衣(首都大学東京) 高橋哲(埼玉大学)

中嶋哲彦(名古屋大学) 中村清二(大東文化大学) 松田洋介(金沢大学) 山口直之(全国私教連) 山本由美(和光大学) 宮下直樹(全日本教職員組合)

地域等からの研究者代表 卜部善雄(北海道) 寺田肇(青森) 数見隆生(宮城) 三輪定宣(千葉) 山内芳衛(埼玉)

宮川義弘(東京) 折出健二(愛知) 原貞次郎(長野) 渡辺孝之(岐阜) 山口隆(大阪) 本田久美子(京都) 山上修(滋賀)

濱田郁夫(高知) 仲田陽一(熊本)

全教代表 小畑雅子(書記長)

顧問 神山正弘 銀林浩 佐貫浩 館博通 田中武雄

津田玄児 中野光 橋本三郎 橋本紀子 堀尾輝久 三上昭彦 宮本憲一 八木英二 山田洋次 横湯園子